

(3) 疾患の有無についての判定精度が格段に高い (Highly Sensitive and Specific)

130項目の疾患リストに陽性的中率を表記した(このような数値を公表している施設は殆どない)。

国際的専門機関の品質保証プログラムに参加し毎年、認証を取得している。国内では有機酸分析の国際認証を得ているのはJCOMIを含む2機関のみにすぎない。

安定同位体希釈法採用、Z-score採用など進んだ検査手法を用いている。

CE/MSやLC/MS型の質量分析装置を使わなければメタボローム解析とは云えないとする偏った風潮があるが、GC/MSよりコストが数倍高くなるだけであり、これ程の多種疾患をこれ程の感度・精度で判定はできない。

(4) 検査結果が迅速に得られ、報告が早いので緊急性のある場合に特に優位 (Very Rapid)

No.	検査施設	検査項目	結果報告までの所要日数
④	日本疾患メタボローム解析研究所	メタボローム解析	0.5～3日
①	一般的な有機酸分析施設	有機酸分析	3～7日
①	コマーシャルラボA	有機酸分析	7～14日
②	一般的なコマーシャルラボ	アミノ酸分析	6-11日

(5) だれでも、どこからでも依頼できる (Anyone from anywhere)

契約の有無に拘わらず原則として医療機関から、まれに個人から、いつでも、どこからでも検査を依頼できる。検体発送の翌日に分析開始、急ぐ場合はその日に結果を連絡(検体を送った日が患者の吉日)